

Chefs d'œuvre des musées 260e anniversaire de Hokusai

商品の一覧

A. 200ユーロ北斎金貨

495,000円(税込) **限定450枚**

額面: 200 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 31.104g
サイズ: 38.0 mm × 29.1 mm 状態: プルーフ



B. 50ユーロ北斎金貨

126,500円(税込) **限定200枚**

額面: 50 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 7.78g
サイズ: 23.0 mm × 17.7 mm 状態: プルーフ



C. 50ユーロピカソ金貨

126,500円(税込) **限定200枚**

額面: 50 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 7.78g
サイズ: 23.0 mm × 17.7 mm 状態: プルーフ



D. 50ユーロゴッホ金貨

126,500円(税込) **限定200枚**

額面: 50 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 7.78g
サイズ: 17.7 mm × 23.0 mm 状態: プルーフ



Chefs d'œuvre des musées 260e anniversaire de Hokusai

E. 金貨3種セット

374,000円(税込) 限定500セット



F. 銀貨3種セット

39,600円(税込) 限定1,000セット

額面:10ユーロ 品位:90.0% 重量:22.2g サイズ:38.0×29.1 mm 状態:プルーフ

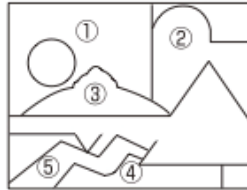


Chefs d'œuvre des musées 260e anniversaire de Hokusai

デザインと解説 金貨

金貨共通<裏面>

フランスを代表する5つの美術館を様々な視点から1枚のコインにコラージュした、独創的なデザイン。コインのモチーフの一つでもあるゴッホの『自画像』が収蔵されている「オルセー美術館」のシンボルの大時計(図①)、中庭から見た「ルーヴル美術館」の外観と「ルーヴル・ピラミッド」をイメージした三角形にコインの額面(図②)、パリにある「国立ピカソ美術館」が設けられている17世紀の建造物「サレ館」の彫刻(図③)、彫刻家オーギュスト・ロダンのアトリエで現在は「ロダン美術館」となっている「ピロン邸」の外観(図④)、ジョルジュ・ポンピドゥー国立芸術センターの象徴的なチューブ状のエスカレーター(図⑤)で構成されています。



金貨<表面>



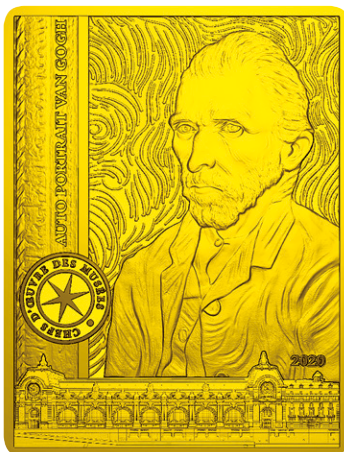
北斎金貨 (200ユーロ、50ユーロ共通)

江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎が70歳を過ぎて描いた傑作『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』がモチーフ。ダイナミックな大波の水しぶきやその中に翻弄される小舟、富士山、作品タイトルや署名までが繊細な刻印技術によって表現されています。絵を囲むように、パリ万国博覧会のために建てられた美術館で、2014年に同作品を含む大規模な「北斎展」の会場となった「グラン・パレ」の象徴的なドームが描かれています。上部には、ロゴの星印を囲むように、作品名などがフランス語で刻まれています。



ピカソ金貨

1937年に起こったスペイン北部の小都市ゲルニカに対する無差別爆撃を題材とする、巨匠パブロ・ピカソの『ゲルニカ』がモチーフ。幅約7.7m・高さ約3.5mの巨大なキャンバスにモノクロームに近い色彩で描かれた大作を、幅2.3cmのコインに緻密な線画で表現しています。この作品が製作されたパリのアトリエをモチーフに、壁一面に絵を配置したデザインとなっており、上部の“梁”にピカソの名前と作品名、左上にはロゴの星印などが刻まれています。



ゴッホ金貨

片耳を切り落とした翌年1889年にフランスのサン・レミ・ド・プロヴァンス滞在中に描かれ、ゴッホ独特の筆遣いで表現されている作品『自画像』がモチーフ。背景の渦のような曲線や服のシワが、細かい線や凹凸によって刻まれています。下部にはこの作品が展示されている「オルセー美術館」の外観をコラージュ。左部にはフランス語で「ファン・ゴッホ 自画像」の文字、ロゴの星印などが刻まれています。

Chefs d'œuvre des musées 260e anniversaire de Hokusai

デザインと解説 銀貨

銀貨共通<裏面>

※金貨の説明をご参照ください



銀貨<表面>



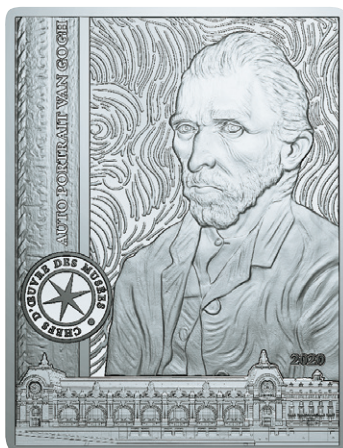
北斎銀貨

※金貨の説明をご参照ください。



ピカソ銀貨

※金貨の説明をご参照ください。



ゴッホ銀貨

※金貨の説明をご参照ください。

(参考)

フランス国立造幣局(モネ・ド・パリ)について

フランスの貨幣鑄造の歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。フランス国立造幣局は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。

18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。全て職人の手作りによるメダル、記念コイン、勲章、各種装身具などの製作を行っており、その高い芸術性や独創性、デザイン性が高く評価されています。

